

千年の森便り N096

2011. 09. 23

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

お知らせ

10月の活動日

日時：10月10日(祝) 9時30分 県民の森「木のふるさと館」駐車場集合

活動内容：国際森林年「森を歩く」協賛 「秋キノコの観察会」 講師 中央博物館 吹春俊光氏

会員以外は保険料・資料代実費(200円)を頂きます。

活動の記録

9月19日(月) 晴

参加者：新井通子、伊藤道男、岩崎夫妻、鶴沢和男、大賀宣彦、苺米均、栗山忠俊、坂本文雄、
中田利明、中田真也子+5、福島成樹、真鍋昌義、村野忠夫、会員19名

○竹製の物置台をつくりました

いつも千年の森に入るたびに気になっていた、老朽化したいつもの荷物置き場でしたが、今回福島さんからのメールで何とかしなくてはと、いつもより気になっての参加でした。

今回苺米さんのデザイン・主導で2m30cm×70cm位の竹製のテーブルを6・7人で新しく作り直すことが出来ました。いつもながら千年の森のチームワークはすばらしい。

荷物置き場で作ったはずでしたが途中から子供たちの遊びの舞台と、昼寝用のベッドになってしまったようです。次回からは荷物置き場として利用されるでしょう。今回参加できなかった方は次回にじっくり見てください。自信を持ってお勧めです。作成に協力してくれた皆さんに感謝とともに苺米さんに感謝です(鶴沢)

今日は、竹で台を作るのをお手伝いしました。どんどん出来ていくのでびっくりしました。出来た台には妹たちが乗ってもびくともしなかったのが強くできているということが分かりました。作る途中、色々なお手伝いをさせてもらったのがとても嬉しかったです。

また余った竹を太鼓にしてみたくと良い音がして面白かったです。また豊英島にきて色々なことをしてみたいです。ありがとうございました。(打瀬小学校4年生 中田夏実)

○シカ生息調査

朝一番の調査として、9月恒例のシカの生息状況調査を行いました。

7つのコースに別れて、10時過ぎから約1時間かけて島内を探索しましたが、今回は残念ながら1頭も見つかりませんでした。痕跡は、足跡とフンが一部で見つかりましたが、いずれやや古いものでした。(福島)

○ヒメコマツ生育状況の確認

今年4月に補植した(昨年植栽)ヒメコマツの生育状況を確認しました。ガケ地の7本はすべて順調で、平坦地は2本枯損、1本が枯損寸前でしたが、大半は順調に生育していました。



師匠(苺米さん)と弟子(鶴沢さん)
の息はぴったり



今回の全員集合写真は
完成した物置団を囲んで



斜面地のヒメコマツの生育状況を確認
する

○ シカ食害調査

A区域(巨木林など平坦部)、B区域(ホテイ岬方面)C区域(シイ・カシ林など斜面林)の3方面を、3班に分かれ、昨年からの調査実績の少ない種を中心に調査した。この日の調査で 2010-11 年調査を終え、年内に整理・報告の予定です。今回は最近の新しい食痕は殆ど確認されていません。ホテイチク林や巨木林の植生保護柵内外の植生密度の違いは一目瞭然、食害の影響を証明しています。(真鍋)

○ 植物調査

今はダム湖が減水しているので、普段は歩けない所へも行けますから新発見のチャンスです。吊橋下の斜面でアオハダが赤い実を付けているのを見つけました。何時もは木の下から見上げて、葉隠れの実を見るだけでしたが、今回は水平目線で見られたので、十分堪能できました。(坂本(文))

アオハダを観察した北斜面にスハマソウの群落が見つかりました。現在はダム湖の減水で干潟から観察できますが、通常は湖水面から数十センチの危険区域です。祠裏斜面の株は矮小化し開花しなくなり、籐平先生は照度不足では?とのご意見ですが、今回見つかった群落は明るいせいか株も大きく、2月には開花しそうです。

千年広場西側の一株の他に南東側にもミヤマウズラの群落が見つかりましたが、花のピークを過ぎていました。この他センブリ、ヒヨドリバナ、ヒメカンسゲなど所在不明となっていた種も確認されました。ヤマユリ保護柵内にはキョスミギボウシ、チゴユリ、シラヤマギク(花)、ナガバノコウヤボウキ(花)等が密生し、柵外と全く異なる光景でした。一昨年秋見つかったクロヤツシロランが落葉の陰にないか探しましたが、発見できず残念でした。10月のキノコ観察の合間に探し出したいのでご協力をお願いします。

この日新たにサクラソウ科のオカトラノオ、カヤツリグサ科のナキリスゲが確認され、豊英島の累積植物種数(02年7月-11年9月)は332種となりました。(真鍋)

			
干上がった湖底に降りて 異なった視点から植物を観察	アオハダの赤い実	ナガヤノコウヤボウキ (花)	新たに発見された スハマソウ群落

○ 野鳥記録

カワウ4、アオサギ1、ダイサギ1、トビ4+声、キジバト囀り、カワセミ1+声、コゲラ声、ヒヨドリ2+声、モズ声(高鳴き)、エナガ 20 以上、ヤマガラ2+声、シジュウカラ声、カケス声、ハシボソガラス4、ハシブトガラス声 15 種

秋の到来を告げる甲高いモズの声(高鳴き)が聞こえて来ました。冬に向かって餌場を確保する為の縄張り宣言の声です。これからますます賑やかになるでしょう。

エナガの群れが対岸から島へ飛んできました。少なくとも 20 羽以上の群れです。ひと固まりで飛ぶのではなく、数羽ずつが次々に飛んで来るので、川の流れのようでした。坂本(文)

○ お知らせ「里山活動協定の知事認定」

千葉県里山条例による里山活動協定認定書(9月6日付:認定番号16号)を受領しました。(事務局)